委託出版　新刊案内　**日本キリスト教団出版局　発売元書籍**

随想集（四）　稲田をわたる風

三浦安子（みうらやすこ）　著

1938年、京都府舞鶴市に生まれ、栃木県今市、富山県高岡で育つ。1961年、東京大学教養学部教養学科ドイツ分科卒業。1965－67年、ハンブルク大学に留学。1972年、東京大学大学院比較文学比較文化博士課程満期退学。1972－2009年、東洋大学に勤める（ドイツ語・比較文学担当）。現在、東洋大学名誉教授。

嬉しいとき、悲しいとき、人には必ず自分を取り戻す場所、繰り返し立ち戻る「聖地」とも言うべき場所がある。若く瑞々しい感性が感じ取った出会いの喜び、本を読む幸せ、生きる意味。魂の経験は時代を超えてドイツ文学者の日々を明るく照らす。心を潤す随想集第4集。

四六判・並製・96頁・定価1,100円（本体1,000円＋税）

ISBN978-4-8184-5560-3　C0095

2023年 3月17日 刊行予定

出荷条件＝6ヶ月 100%

※150部の限定配本につき、ご注文が多い場合は冊数調整させていただきます。

目次

Ⅰ　風に吹かれて
一、　春の想い
二、　稲田をわたる風
三、「おりおりそそぐ秋の雨」
四、「冬の星座」

Ⅱ　書（ふみ）読む月日
一、　高岡古城公園の中の市立図書館
二、　鶴ヶ谷真一『月光に書を読む』を読んで
三、　今年の夏は――寺島実郎『ジェロントロジー宣言』を読んで
四、「家居」の一年間――コロナ・手仕事・読書
五、　富士川義之著『ある文人学者の肖像――評伝　富士川英郎』出版記念会祝辞

Ⅲ　この世を超えるもの
一、　聖書と共に――その学びは日常生活の中で
二、　新作能『鎮魂――アウシュヴィッツ・フクシマの能』を観て
三、　現実と闘う宗教者――高瀬千図『明恵――栂尾高山寺秘話』を読んで
四、　安曇野の清流――井口喜源治の生地を訪ねて
五、　忘れられない言葉――矢内原忠雄先生の思い出

Ⅳ　畏れを抱きつつ生きる――野村実先生の「問い」を想起しつつ